

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式								
E1140007		病弱児の指導法 (Instructional Methods for Children with Health Impairments)							対面								
必修選択		単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語		担当形態							
必修		2	3	教育学部		金3	日本語			単独							
担当教員	氏名 古長治基																
	E-mail h-kocho@oita-u.ac.jp 内線 6147																
授業の概要	病弱教育には様々な障害、疾患が含まれうる。そのような多様な疾患をもつ病弱の児童・生徒の教育においては、様々な形で配慮が必要となる。病弱児の指導について理解し、基本的な指導方法を身に付けることを目的としている。																
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)		1	2	3	4	5	6	7	
目標1 病弱児の指導において必要な観点を説明できる										○							
目標2 病弱児の指導方法について、具体的に提案できる												○					
目標3																	
目標4																	
目標5																	
目標6																	
目標7																	
目標8																	
目標9																	
目標10																	
各DPへの関連度(計10)										4		6					
授業の内容																	
1 病弱児における教育の意義																	
2 病弱児の教育課程																	
3 病弱児教育における個別の指導計画の作成																	
4 個別の指導計画に基づいた授業設計																	
5 病弱児の学習面における教育的ニーズ																	
6 病弱児の自己管理や対人面における教育的ニーズ																	
7 病弱児の心理面や連携における教育的ニーズ																	
8 病弱児への指導上の留意点と授業づくりの工夫																	
9 病弱児への各教科等の指導の実践：ICTの活用																	
10 病弱児への各教科等の指導の実践：教材・教具の工夫																	
11 病弱児への自立活動の指導の実践：健康の保持・心理的安定																	
12 病弱児への自立活動の指導の実践：人間関係の形成・コミュニケーション																	
13 病弱児への指導の実践：精神疾患に留意した指導																	
14 病弱児教育における社会的課題																	
15 まとめ																	
ラーニング	A:知識の定着・確認		○	各回で、扱った内容についてディスカッションの機会を設ける。				工夫その他の									
	B:意見の表現・交換		○														
	C:応用志向																
	D:知識の活用・創造																
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		配付資料や参考文献等の情報を必要に応じて予習する。発表について、関連事項の調査や発表準備を行う。(30h)														
	事後学修		関連する資料を調べる、読む、動画を視聴する等する。発表後の振り返りを行う。(15h)														
	想定時間合計		45														
教科書	テキストは指定しない。																
参考書	特別支援学校学習指導要領等 国立特別支援教育総合研究所 (2017) 病気の子どもの教育支援ガイド。ジヤース教育新社。ISBN-13 978-4863714069 全国病弱虚弱教育研究連盟 心身症等教育研究推進委員会・国立特別支援教育総合研究所 (2011) 精神疾患等のこころの病気のある児童生徒の指導と支援の事例集 全国病弱虚弱教育研究連盟心身症等教育研究委員会 (2015) 精神疾患等のこころの病気のある児童生徒の指導と支援の事例集																

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4	目標 5	目標 6	目標 7	目標 8	目標 9	目標 10
	討論への貢献		20%	○	○								
	課題レポート		10%	○									
	発表		40%	○	○								
	期末レポート		30%	○									
注意事項		なし。											
備考		疑問や自分の意見について積極的に発言すること。発表、議論には参加者の積極的な参加を求める。 この科目は「地域創生教育科目」である。											
リンク													
		URL											